

# 理事長所信

一般社団法人 東根青年会議所 2017年度

第41代理事長 鈴木 亮吉

## 【はじめに】

今日我々を取り巻く世界の現状は、テクノロジーの進化により情報はもちろん人や物の全てが国境すらもボーダレスで行き交い、東根にいながら世界の動きをダイレクトに知ることが出来る時代です。その一方で度重なる金融危機と続発するテロに象徴されるように経済至上主義の限界が表面化してきております。この混沌とした世界の中で我々は時代の変化に合わせて自分自身も変化する必要があります、そして青年経済人として自らの判断で決断し行動しなければなりません。東根青年会議所はまちづくりの団体として1977年に設立され、創立宣言文の中で「われわれは、青年としての英知と勇気と情熱をもって、自らを修練し、互いに切磋琢磨、力を合わせて社会に奉仕し、JC活動を通じて、洋々として明るい豊かなふる里のまちづくりに努力する」と高らかに宣言されている通り、メンバーが一人ひとり真剣に東根の将来について考え、まちづくりの運動を通して東根市の発展に寄与することができる人材に育っていくことこそが、我々に課された使命であります。我々は先輩諸兄の創始の理念に立ち返り、力強く行動していく団体とならなければなりません。そして東根青年会議所は市民意識変革運動を巻き起こす団体として、市民一人一人が自ら考え行動する活力ある東根を目指し、まちづくりの運動をおこなっていく必要があります。

## 【共感で繋がるコミュニティの創造】

我が東根市の産業は全国的にも有名なさくらんぼを始めとする農業を始め、工業団地には大企業が数多く入居し、雇用や所得も近隣市町村より環境が良好であり人口増にも繋がっております。これは非常に住み良い街として認識されていることの一つの表れであると言えます。ただその中で新しい住宅街の開発により、市外、市内からの人口の移動が増えたことで、新しい住宅街ではコミュニティを新たにゼロから作っていかねばならず、逆に従来コミュニティでは、地域の繋がりが若者の減少により薄れている問題も出てきております。この地域の連帯感が薄くなってしまえば、地域への帰属意識が薄れ、愛郷心が育ちにくい弊害が生まれます。私は愛郷心とはそこに住む人々の豊かな心を育むことに繋がるものであると考えます。東根には各地域に伝統芸能や名産品、豊かな自然等の地域の宝が数多く存在しております。我々が主体となり行政、他団体、個人を巻き込んだ地域の宝の魅力を市民が深く理解し、外へ発信する事業をおこなうことで、愛郷心に繋がる共感を広く市民に感じてもらう、この東根市をさらに魅力的な街にするための事業が必要です。『共感こそが地域の未来を創る』

### 【夢と希望溢れる青少年育成】

子供たちは地域の宝であり未来に夢が持てる事業を展開していく必要があります。近年の少子高齢化が叫ばれる中、我が東根市は何年にも渡り人口増加している自治体であり、タントクルセンターやあそびあらんどに代表される子育て支援の施設や、2016年度より開校した中高一貫校など子育てそして教育の面でも県内で先進的な取り組みを行っております。ただこの東根の恵まれた環境の中でも、子供たちは家族構成の変化はもちろん、ゲームやSNSを通じた友人との付き合い方の変化に伴い、顔を突き合わせた会話が減った分、相手の気持ちに鈍感になることが増え、他人との付き合い方に弊害が現れております。子供たちには実際に人と人との繋がりを通じて、他人を思う道徳心を養い、コミュニケーション能力の高い人間に成長できるよう、東根の未来のために大人である我々が模範となり、子供たちに対する事業を行っていかねばなりません。そして子供たちが自分たちには無限の可能性が広がっており、やる前から諦めること無く将来に夢や希望を持てると感じられる事業を展開していかねばなりません。そして子供たちには自分たちが生活している東根をもっと知ってもらい、東根をさらに好きになってもらいたいと考えます。

### 【自己の成長こそが我々の使命】

まちづくりは人づくりであるとたびたび言われる通り、我々は東根市を担っていく人材になるためにも親として、そして青年経済人として、そして市民の一人として成長していく必要があります。我々に与えられた時間・資金は有限であり、一人の力で出来ることはこの広い世界の中で非常に小さいことです。しかし人間の想像力は無限であり、一人の人間の持つ強い信念と行動は世界を変える力を持ちます。常にアンテナを張り外に目を向け、経済的な感覚を養っていくことを忘れてはいけません。東根青年会議所でも入会の浅いメンバーが増加している状況であり、今こそ青年会議所の持つスケールメリットを活かし、メンバーの成長に繋がる事業を積極的に行う必要があります。

### 【会員拡大と情報発信】

会員拡大は東根青年会議所の魅力を高めていくためにも休むことなく続けていく必要があります。青年会議所の三信条である奉仕・修練・友情も、仲間が多いほど互いに切磋琢磨し大きな意味を持つこととなります。この人との出会いの重要性をメンバー全員で共有し、伝統ある東根青年会議所の歩みを更に確かなものにするために、会員拡大は積極的かつ継続的に取り組んでいかねばなりません。

またホームページやSNS、各種メディアを活用し、我々の運動を積極的に発信していくことで、メンバー間の交流や市民にも幅広く青年会議所の運動が理解されるよう努めていかなくてはなりません。

## 【結びに】

我々は創立 41 周年目の団体として、創立以来の伝統を引き継ぎながらも、時代に即し生まれ変わっていく必要があります。明るい豊かな社会は、明るい豊かな個人の存在なくしては実現できないことを理解し、その明るい豊かな個人になるために我々は自己の研鑽を積み、世界との友情を育み、地域と連携して力強く運動を進めていきましょう。我々は無限の可能性を持っており、一度きりの人生、一度きりの今を完全燃焼していくべきであることを理解していく必要があります。我ら青年世代こそが地域を背負う原動力であり、我々の成長こそが地域の発展につながることを信じ、共感で繋がれた愛や夢、そして希望に満ち溢れる輝かしい東根の創造のために失敗を恐れずに勇気をもって行動してまいりましょう。

「東根を変えるのはオレたちだ！！」